

2021  
1

# Shimizu

みんなでつくるまち みんなで考える 『広報紙』 広報しみず ゆう・える

特集

新春企画

「今年がモオ〜ッと良い年になりますように!!」

ゆう

える

新しい社会教育計画の策定に向けて

●写真 御影公園イルミネーション (町商工会御影地域振興部会)





# 2020 フォト★ アルバム

清水町では、  
こんなできごと  
がありました！

2月



1月にスイスで開催された冬季ユース五輪で、アイスホッケー日本代表女子メンバーとして出場し優勝された、梅森遥愛さんに清水町長賞を贈呈しました。

4月



第一保育所と第二保育所を統合した、しみず保育所「ぼっけ」が開所しました。

7月



平成28年台風10号災害で被災し通行止めになっていた「新錦橋」が開通。

9月



住民協議会が第6期総合計画に対し、「20の提案書」を町長へ提出しました。

10月



平成2年にオープンした、図書館・郷土史料館が開館30周年を迎えました。

10月



清水高校生が模擬議会議を体験。一般質問でまちづくりへの提案を行いました。

10月



オンラインで開催された「パン甲子園2020 in いわみざわ」で清水高校が3連覇を達成！

## 新年のご挨拶

令和三年に向けて

新年あけましておめでとうござい  
ます。

世界・日本中で猛威を振るう新  
型コロナウイルス感染症の一日も  
早い収束と町民の皆様の平穏な生  
活を願い、謹んで年頭のご挨拶を  
申し上げます。また、町民の皆様  
には、日頃より町政に対する絶大  
なるご支援とご協力を賜り心から  
感謝とお礼を申し上げます。

さて、未だ全国的な感染の収束  
が見通せない新型コロナウイルス感  
染症ですが、そのような中、昨年  
11月に町職員の感染が確認され、

町民の皆様にはご心配とご不便を  
おかけすることとなり、あらためて  
お詫び申し上げます。今後、更な  
る感染防止対策を徹底することも  
に、町民の皆様様の健康保持と町内  
経済の回復に努めてまいります。

さて、清水町の昨年の農業生産  
額は300億円を超え、史上2番目の  
見込みであります。食料自給率も  
2千%を超える本町の農業は、町  
の経済全体への波及効果も大きく、  
農業関連産業を含めると町内総生  
産の約80%を占める大きな産業とい  
えます。当分その位置付けは揺る  
ぎないであろうと思われまます。

また、コロナ禍中による社会経  
済活動は、当面国内や道内、町  
内での生産や消費、雇用を循環さ

せるなど、地域で回す経済に軸  
足をおくことが大切と考えます。

さらに、このコロナ禍は人口や  
経済機能が大都市に集中するリ  
スクを浮き彫りにし、より一層  
の地方創生社会の実現が重視さ  
れてきています。これに応えるか  
のように、清水町の人口は令和  
2年度に入り、移住等も進み人  
口減少幅が緩やかになっていま  
す。今後さらに社会のデジタル  
化の進展などにより地方移住が  
進むと言われている中、清水町  
が大切にしてきた食や農業、時  
間や空間のゆとりなど、大都市  
にはない強みを発揮するチャン  
スが到来しています。

本年放送されるNHK大河下  
ラマ「青天を衝け」の主人公と  
なる渋沢栄一翁が明治31年開  
拓の鉄を入れた清水町。栄一  
翁のフロンティア魂や「寛而約」  
「忠恕の心」の精神をしっかりと  
受け継ぎ、後世に繋いでいかな  
ければなりません。また、栄一  
翁のふるさとである埼玉県深谷  
市及び東京都北区との縁を大切  
にし、交流を推進してまいりた  
いと考えております。

心美しく 希望満開に

# 桜舞

令和三年

暗いニュースが続く世の中ですが、桜の花をみて「綺麗だな」と思える晴れやかな気持ちをどうか忘れないでいてほしい。小さな幸せを感じ、前向きに笑顔で過ごす日々を大切にしたい。希望を持ち続けていれば、明るく満開の未来が来ると信じて書きました。

【作：大内田菜摘（教育委員会）】

牛は古くから農業などで人間を  
助けてくれる大切な動物です。

さて、令和3年は丑年です。

大変な農作業を最後まで手伝つ  
てくれる働きぶりから、丑年は「我  
慢（耐える）」これから発展する  
前触れ（芽が出る）」というよう  
な年になるといわれています。酪農の  
町と評される清水町の乳牛飼養頭  
数は2万7千頭で、十勝1位を誇  
る14万2千トンの牛乳が生産され  
ており、わが町が牛から受ける恩  
恵は計り知れないものがあります。

新型コロナウイルスから町民の  
皆さんの暮らしを守るためもう少  
しの我慢です。丑年の本年が清  
水町の新たな発展の前触れの年と  
なるよう町民の皆様との対話を重  
視し、共に明るい未来に向かって、  
着実に前へ進んでいきたいと思いま  
す。皆様にとりまして、健康で喜  
びに満ちた年になりますよう祈念  
し、年頭のご挨拶といたします。

清水町長 阿部一男



## 令和2年(2020年)の 清水町のできごと

- 【1月】
  - ▼新年氷上まつり（NPO法人町アイソホッケー協会主催）を開催
  - ▼清水御影アイスホッケー少年団が全道小学生選手権大会で優勝。
  - ▼しみずしゃっこい祭（町商工会青年部主催）を開催
  - ▼冬季インターハイが十勝開催となり町アイスアリーナも会場に。清水高校アイスホッケー部が全国3位。
- 【2月】
  - ▼渋沢栄一記念館（埼玉県深谷市）の坂倉茂館長が来町、記念講演会を開催。
- 【7月】
  - ▼共栄橋の改修工事が完了し開通。
  - ▼英語指導助手のマリアアさんが任期を終え離町。自作の英語絵本を町に寄贈。
- 【8月】
  - ▼みかげ花火大会（御影秋祭り実行委員会主催）を開催。
- 【9月】
  - ▼十勝清水肉・井まつりクーポン券事業を町内飲食店で実施。
  - ▼文化史跡紹介パンフレットを作成。
- 【10月】
  - ▼とかちしみず町花火大会（町商工会青年部主催）を開催。
  - ▼十勝清水にんにく肉まつりイベントとして森崎博之さん（TEAMNACS）の講演会を開催。
- 【11月】
  - ▼「とかちマルシェ料理甲子園2020」で清水高校が2年連続の優勝に輝く。
  - ▼町役場で新型コロナウイルス感染症の集団感染が発生。（12月18日に終息宣言）



陸上で  
頑張ります！

新春★特別企画!

HAPPY  
NEW YEAR!

まさを  
元気にしたい!

# 2021 モオ ～ツと (丑) ますように!

2021年は<sup>うし</sup>丑年! 清水・御影小学校  
「2021年の目標」「2021年頑張りたいこと!」を書いてもらいました!

2021年の目標は...  
全道大会に  
行く!

清水小学校 5年  
しのはら かな  
篠原 奏 さん

学校だけじゃ  
なくて、町のみんなを  
笑顔にするきかくを  
考えたい!

御影小学校 5年  
ひらい ここな  
平井 心奏 さん

2021年の目標は  
文武  
両道

清水小学校 5年  
ふじや しゅんすけ  
藤谷 俊輔 さん

今年の目標は  
少年団で  
仲間と協力する!

清水小学校 5年  
ばんしょう かの  
番匠 華乃 さん

今年の目標  
みんなで協力して  
□□ナを乗り越える!!

清水小学校 5年  
よしだ るか  
吉田 瑠伽 さん

ゴミのない  
きれいな町を  
つくりたい!

御影小学校 5年  
いわもと こうすけ  
岩本 孝祐 さん

どんなに  
むずかしい事が  
あっても  
ちょうせんする!!

御影小学校 5年  
いけもり あいり  
池守 愛莉 さん

ケンカ  
強いのかき  
強くしたい。

御影小学校 5年  
いりざわ かずと  
入澤 和叶 さん

2021年挑戦したいこと  
苦学な事を  
たぐんね!

清水小学校 5年  
さくらい あおい  
櫻井 葵 さん

今年の目標  
打倒!!  
コロナ!!

清水小学校 5年  
いとう かい  
伊藤 快 さん

2021年挑戦したいこと  
料理のお手つだいに  
挑戦したい

清水小学校 5年  
かまつか ゆま  
鎌塚 友舞 さん

かんきょうを  
よごさないように  
生活したい。

御影小学校 5年  
むらせ とうご  
村瀬 斗吾 さん

何事も  
楽しみたい!

御影小学校 5年  
すずき いくみ  
鈴木 郁実 さん

コロナに負けない  
ように  
手洗いうがい、マスクは  
しっかりする!!

御影小学校 5年  
わかほら とうご  
若原 兜心 さん



# 町民の声ポスト



清水町役場職員の  
新型コロナウイルス集団感染に対して  
いただいた「声」にお答えします。

『職員への感染はいつ知り、その後どのような対応や指示をしたのか』

11月21日午後6時20分頃、十勝総合振興局より、当町職員が陽性の見込みであるとの連絡を受け、対策を協議するとともに、関係課長に所属職員の体調確認と濃厚接触者となる可能性のある職員の自宅待機を指示したところです。

その後、陽性者の確定とともに濃厚接触者が確定され、濃厚接触者においては陰性であっても健康観察期間は自宅待機といたしました。併せて、役場庁舎1階のロッカー及びトイレなどの共用部分と、濃厚接触職場となった執務室内の床、机、キャビネット、電話機等の消毒を行ったところです。

『町民への情報提供が遅かったのではないのか』

不確定な情報はかえって混乱を招くと判断し、北海道の公表に合わせて11月22日より、陽性者の人数や窓口の業務体制、町民の皆様へお願いしたいことなどを町ホームページや防災行政無線で皆様にお知らせしたところです。個人情報

報保護の観点からお伝えできる情報に限りがあったことをご理解いただきたいと思います。

『職員のマスク着用は徹底していたのか』

職員はマスクを着用していましたが、不織布以外のフィルター能力が低いとされる布マスクを使用していた職員や、鼻を出さない適切なマスクの着用をしていない職員が一部ありました。

『役場庁舎の消毒はどのようにしていたのか』

役場庁舎の共用部分であるトイレ、ロビー、階段手すりなどは清掃委託業者により定期的な消毒を行ってまいりました。

その他の執務室内のパソコン、電話、机などは職員の個々の判断に委ねてまいりました。

『職場内で会食などは行われていなかったのか』

課など職場としての会食は行われておりません。

また、昼食は大半が自宅においておられますが、一部の職員は自席にて弁当を食べている状況です。

なお、庁舎内及び敷地内においては全面禁煙となっております。

『感染症予防対策は徹底されていたのか』

手指消毒や換気、各課窓口へのパネル設置や消毒薬の設置などを実施してまいりました。

しかし、気温の低下などから、換気の回数が減っていたり、手指消毒も回数が少なかったりと、職員の判断に委ねていたことが多く、事業所として明確な指示をすべきであったと思います。

『保健所からの指導は現状どうなっているのか』

帯広保健所からは、発生当初に職場内の消毒の指示、その後、職員のPCR検査の指示がありました。

現在新たな指導はなく、12月16日で帯広保健所としての健康観察期間を終了しております。

『集団感染の発生原因をどのように考えているのか』

原因については、現時点で特定することは困難ですが、陽性者であっても無症状の職員が複数いたり、風邪の症状があり、病院を受診していた職員がおりました。

どこから持ち込まれたか不明ですが、役場内に持ち込まれたウイルスが、職場での日常的な会話であったり、共用するパソコンの使用に伴う接触などにより、感染が広まったと推測されます。

また、各課を区切る壁がない本町の庁舎の特性から、広くウイルスが蔓延した可能性もあります。

いずれにしても、手指消毒や換気に対する職員の意識が徹底されていないことが、職員の机間を区切るパネルの設置がなかったこと、消毒や換気に対する事業所としてのルールが明確でなかったことなど、感染予防対策の取り組みが組織として不足していたと考えられます。

現在は、換気や共用部分の消毒回数を増やし、職員の机正面にパネルを設置するなど対策を強化し、手指消毒の徹底、職員の体調管理の記録など危機意識を持って対応しております。

## 医療関係者の見解



清水赤十字病院  
藤城 貴教 院長

～新型コロナウイルス感染症  
協力医療機関としての立場から～

### 『清水町役場で 集団発生した 新型コロナウイルス 感染症に関する見解』

感染発覚後、可能な限り  
町民に詳しい情報を発信していた

昨年発生した清水町役場職員の新型コロナウイルス集団感染では、11月21日に陽性見込みの職員が発覚後、役場はただちに帯広保健所の指示を仰ぎ、庁舎内の消毒に始まり業務停止や閉庁、施設閉鎖などの措置を迅速に行っている。

12月2日までに合計31人の職員が感染したが、その後12月16日までの2週間において、新規感染者は見ら

れなかった。

その間、役場はホームページや防災無線において連日情報を発信し、町民への注意喚起に努めてきた。本感染症においては特にプライバシー保護の観点から、情報公開にもおのずと限界がある中で、可能な限り詳しい情報を発信していた印象がある。

新型コロナウイルスは  
早期診断・発見が困難な疾患

新聞や報道にもあるとおり、日本中の医療機関でも大きなクラスターが次々と発生している。

医療者は言うまでもなく医療のプラットフォームにおいては、新型コロナウイルスに感染することから、療者にも簡単に感染することから、多くの人間が一堂に会して働く職場においては、通常業務を続ける限り蔓延を防ぐことは甚だ困難である。

更に本疾患は潜伏期間が1週間前後、不顕性感染あるいは軽症者が80%と、早期診断・発見が困難な疾患であるため、同ウイルスが集団へ侵入することを防ぐのは困難と言える。

今、必要なことは『協力と前進』

今、清水町に必要なのは、様々なステークホルダー※が協力し、未来志向で新興感染症と闘うことであり、未曾有のパンデミックに対して、人

物・金を最大限に使って自身を守ることである。必要なのは「誹謗や中傷」ではなく『協力と前進』である。

論ずべきは『新たな感染症対策』

昔から「予防に勝る治療なし」と言われているが、今がまさに防御策を協力して考え実施するときである。

事実、すでに清水町の施策で成功を収めているものにインフルエンザワクチンの一部無料化がある。町の依頼により当院はワクチン確保数を例年より大幅に増やし、十勝管内医療機関でワクチンがすでに底をついている中、いまだに安定した予防接種を実施することができ、町民の安心を得ている。他自治体と比べても一歩前進していることは言うまでもない。

今回の事象により、経営上の影響を受けた医療機関等に対する支援は必要であるが、今、高い優先度をもって論ずべきは「新たな感染症対策」である。

例えば、発熱者外来・隔離病棟の新設、PCRやCT等の検査体制の整備、新規ワクチンの保存供給体制をはじめとした『感染症流行下でも機能するまちづくり』であろう。

更には災害避難所・福祉避難所を町の中心部に整備すること等、これらが感染症を含む『自然災害』から町民を守るための将来設計ではないか。

※ステークホルダー…企業・行政・NPO等の利害と行動に直接・間接的な利害関係を有する者を指す。利害関係者。





# まちのミライ設計図



## 地域別懇談会、総合計画審議会でいただいた意見を計画に反映!

第6期清水町総合計画の基本構想及び基本計画の案は、パブリックコメントをはじめ、町内各種団体との懇談会や地域別懇談会時にいただいた意見を反映させ、総合計画審議会で審議いただきました。今月号では地域別懇談会及び総合計画審議会からの意見を抜粋して掲載します。

いただいた意見を町政や第6期総合計画に反映させ、より意義のあるミライ設計図とします。

■問い合わせ先 企画課政策企画係 (Tel 62-2114)

## 地域別懇談会

14町内  
で  
懇談!

**要望** 近年、農作業機械の大型化などもあり、道路の損傷が激しいため、改修をお願いしたい。

**町長** 道路の改修については、全町的に要望が多いが、財政的な事情もあるため、交通量等を勘案したなかで優先順位をつけながら、計画的に進めてまいります。



令和2年11月17日、人舞地域の懇談会では町の新型コロナ対策や光回線整備等について質問が出されました。

**質問** 農村部の光回線整備の状況について教えてください。

**町長** 来年度中に町内全域に光回線が整備される計画で進んでいきます。



**質問** 道の駅の設置についてどう考えているか。

**町長** 情報発信拠点をどのような形態で設置・運営するべきか内部で協議しています。今後のまちづくりの重要な項目として、進めていきたいと思っています。

**質問** 今年度は地域振興会の事業を行うことができなかったが、町からの補助金をどのように処理するべきか。

**町長** コロナ禍で活動ができず、使っていない補助金は返還をしていただくことになりました。来年度も例年通りの計画を作成していただける場合、例年通りの補助金を確保していきたいと思っています。

**質問** 人口が減少していくなか、清水と御影の学校統合を考えているか。

**町長** 今後、小中一貫教育を推進していきますが、保護者や地域の皆さんとどういった形がよいか対話を重ねます。現在は統合の予定はありません。

また、1学年10人以上を確保できるように御影地域の振興を図りたいと思っています。

**要望** 清水高校生の作るパンを町内で気軽に購入できないか。

**町長** 帯広市のパン屋で期間限定販売をすることはありましたが、町内では販売していません。町民が食べられる機会を作れたら良いと思っています。



昨年9月には、清水高校生が文化センターで1日パン屋さんとして特別開店。開店後すぐにパンが売れるなど大人気でした。

**意見** 基本計画にある商店街の空き店舗を活用した新規事業者数の目標設定をもう少し高く持つてもよいのではないかと。

**回答** 現在は0件のため、1年に1件は新規事業者を増やしたいという思いから目標を設定しています。

**意見** 空き地・空き家の活用について、物販や子どもが利用できるものなどいろいろな選択肢を考えてほしい。

**回答** 様々な方法を考えなければ活用されないため、商店街が活性化されるよう考えていきます。

### 第6期総合計画の内容は、広報しみず紙面で皆さんにお知らせします!

第6期総合計画案は、今後、町議会で審議された後、令和3年4月よりスタートする予定です。

計画の内容が決定後、広報紙面にて皆様にお知らせいたします!

## 総合計画審議会

第6期  
総合計画を  
審議!

**意見** 町民の声や町の情勢に敏感になり、スピード感のある柔軟な対応をお願いしたい。

**回答** 毎年度の予算や補正予算に絡めながら、住民生活に密着した迅速な対応に努めていきます。

**意見** 他の課と連携し、風通しの良い職場にすることでより良い町の実現につながる。

**回答** 組織横断的に行うことを行政運営の柱として基本計画に加え、まちづくりを進めていきます。

**意見** 情報を共有することが大事であるため、役場全体で総合計画を実行してほしい。

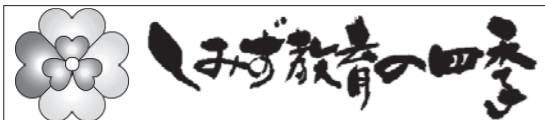
**回答** 役場職員全体で情報共有することが計画の実行につながるため、努力していきます。

**意見** 計画案のまちの将来像を実現することが、町民の満足度向上につながると思う。

**回答** 自分たちが町の良さを「気づき、町のミライを築いていく」という思いでまちの将来像を考えました。職員も同じ気持ちで取り組んでいきます。







冬～厳しさに生きる 人の中で 共に磨く  
幼保・小のつながりを一層深めて

幼保・小連携推進会議は、幼稚園や保育所・こども園と小学校のつながりを深めることを目指して連携事業を実施しています。

例えば、年長児と小学校低学年・高学年との交流や、年長児同士の交流、幼稚園・保育所・こども園の先生方による小学校低学年（1・2年生）の授業参観、年長児の保護者懇談会での小学校教職員と教育委員会職員による講話などを行っています。

今年は、コロナ禍のために計画されていた事業が中止又は延期となっています。今後、幼保・小間のつながりを一層深め、「今できることや今だからできること」を考え、年長児がわくわく感と安心感を持って小学校に入学できるような学びの環境づくりや工夫した活動に取り組んでいきます。



園児たちは、元気に活動しています

## 社会教育関係団体紹介

### ● 柏サークル ●



昨年4月から柏サークルの講師が代わり、小学生から大人の方まで、幅広い年代の方たちと週に2回、楽しく習字や硬筆を練習しています。

習字や硬筆の楽しさをより多くの人に伝えたいという思いで活動しています。興味のある方は、見学や体験もできますので、一緒に活動してみませんか？

- 活動日時：毎週火曜日 15:00～19:00  
木曜日 15:00～18:00
- 活動場所：文化センター
- お問い合わせ：澤田雅子 (TEL 62-4582)

## 図書館だより

毎月19日はしみず読書の日

### 力作揃いの写真絵本講座作品展を開催

読書普及事業「写真絵本をつくろう！」講座参加者の作品展を12月に図書館で開催しました。芽室町在住の写真絵本作家・小寺卓矢さんの指導を受けて仕上げた作品は、なぞなぞ絵本や自然の楽しみ方のススメなど、作り手それぞれの工夫と感性が光り来館者の目を楽しませていました。



### 新着図書からピックアップ



『家族のトリセツ』  
黒川伊保子著 / NHK 出版

新型コロナウイルスの影響で、家で過ごす時間が増え、世間では家族とゆっくり話ることができて良かったという声も聞けば、ずっと一緒にいることで家族の欠点が目につきケンカが多くなったという声も…。後者の方にオススメなのが、ベストセラー『妻のトリセツ』の著者による本書です。

脳科学・人工知能の研究者である著者によると、才覚は必ず欠点と共に脳内にあり、例えば発想力と「気分屋」「飽きっぽい」、戦略力と「ぼんやり」「ぐずぐず」はセットで、欠点を消せば、長所も弱体化するそうです。なので、欠点ゼロを目指す、家族は多分幸せになれず、才覚を活かせなくなってしまいます。家族は安心を与える場であることを第一に考え「欠点に対する見方を変えてみる」「相手ではなく家事のやり方を変えてみる」など、お互いが気持ちよく過ごすためのヒントが紹介されています。

- 『スター』 朝井リョウ著 / 朝日新聞出版
- 『アウターQ』 澤村伊智著 / 祥伝社
- 『質草女房』 渋谷雅一著 / 角川春樹事務所
- 『滅びの前のジャングリラ』 凧良ゆう著 / 中央公論新社



両委員長による提言書の提出



第1部会  
社会教育振興  
(青少年、成人・家庭教育)



第2部会  
社会教育振興  
(社会教育施設、推進体制)



第3部会  
文化芸術振興



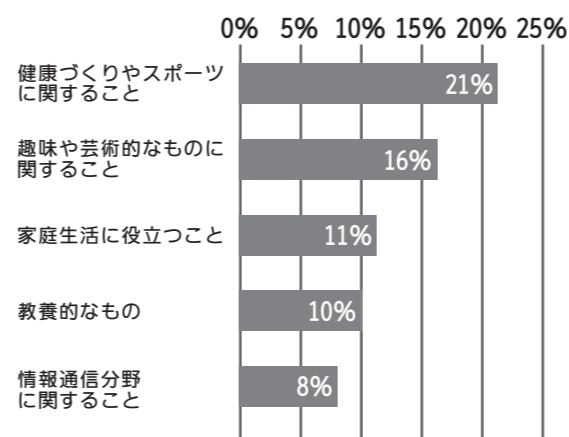
第4部会  
スポーツ振興

町教育委員会では、令和3年度から実施する第9次社会教育計画の策定を進めています。社会教育計画は、清水町総合計画の社会教育分野を、より具体的に推進するため5年毎に策定しています。この度、計画の骨子となる基本計画に対して、社会教育委員、スポーツ推進委員から教育長に対し、「第9次清水町社会教育計画の在り方について」と題した提言がなされました。両委員は、これまで

も社会教育計画の立案に対してその職務として提言や答申を行っています。今回の提言にあたっては、分野ごとの専門部会を4つ構成し、現計画の事業評価や、市民の学習や活動状況の把握、市民から求められている社会教育事業等が審議されました。教育委員会ではこれを受けて、基本構想・基本計画を策定し、さらに実施計画を加えた計画書を3月に公表する予定です。

## 新しい社会教育計画の策定に向けて

### 【今後希望する学習や活動の内容】



第9次社会教育計画の策定にあたり、市民の学習活動に関する調査を行いました。調査は、満16歳から79歳の市民1200人を対象として、420人からご回答いただきました。調査により、今後希望する学習や活動の内容は、「健康づくりやスポーツに関すること」が最も多く、次に、「趣味や芸術的なものに関すること」、「家庭生活に役立つこと」が続きました。いただいた市民の意向は、今後の計画に盛り込んでいきたいと考えています。ご協力ありがとうございました。なお、調査結果は、まちづくり情報コーナーでご覧いただける他、3月に発行する社会教育計画書でもご覧いただけます。

### 市民の学習活動の状況



**電話予約により  
休日に住民票などを  
受け取ることができます**

■受け取りできるもの  
住民票、印鑑登録証明書、戸籍の附票

■電話予約受付  
月～金曜日（閉庁日を除く）  
8時45分～17時30分

■予約先 町民生活課 (TEL 62-1151)  
御影支所 (TEL 63-2111)



**哀悼**  
佐々木 治美さん 桂町  
佐々木 智さん 西清水  
斉藤 澄子さん 桜ヶ丘団地  
山田 光さん 中羽帯  
加地 保良さん 富士  
松原 ハツ子さん 熊牛

**結婚**  
玉井竜二さん♡大澤綾香さん  
瀧 達成さん♡藤井美津紀さん

**誕生**  
高橋 翔太郎ちゃん (恵治 / 朋美)  
後木 葉音ちゃん (洋祐 / 加奈)

**インフォ  
メーション**

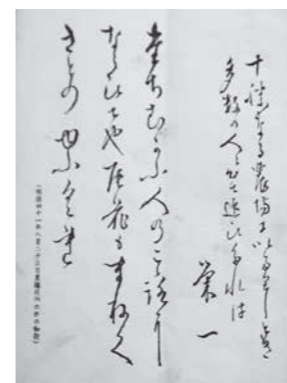
「平勝清水郷土史研究会」監修  
**清水歴史探訪【4】**  
『渋沢栄一と清水町』

④ 渋沢栄一が人舞村で詠んだ和歌  
十勝開墾会社農場視察で渋沢栄一が人舞村（現清水町）熊牛農場小田農場長宅に滞在した1908（明治41）年8月23日の日記では、欄外に次の和歌を詠んでいます。

たち迎ふ  
人のこころにならひてや  
尾花もまねく 里の夕暮

【※尾花くおばな（馬などの尾に似ているところから）ススキの別名。また、ススキの花穂】

この和歌を栄一は自筆で遺している、十勝開墾株式会社農場要覧（大正7年発行）で確認できます。



↑十勝開墾株式会社農場要覧より

崩し字なので私には所々しか読めませんが、町教育委員会が依頼した専門家の解説では『堂ちむ可ふ人の言話にならひてや尾花もまねくさとのゆふくれ』となっていて、詠んだ本人の日記とは漢字やかなの表記など微妙に違ってきます。

更にその場にいた三女愛子の日記では、『迎へたつ人の心を穂に見せて尾花もまねく里の夕暮』と、道の両側に立つお迎への人を見て父上はこの歌を詠んだと記しています。

言い違い、聞き違い、思い違いがあったのか、二種類のもが存在するの面白いことだと思います。

翌24日夜にはアイヌの人たちによる熊祭りの古い儀式を見て次の和歌も遺しました。

あふものは  
みなあたらしき 旅の空に  
布るき神代の さまも見るかな

渋沢親子の滞在中の日記と一緒にこの二つの和歌を読むとき、当時の様子的一端と、そこに起つ渋沢栄一の心情にいくらかでも近づけることができたような気持ちになります。

・文責 草野 和好  
（十勝清水郷土史研究会）

**広報モーター**  
こんにちは

★表紙、新型コロナに負けないうぞ！という子どもたちから町へのエールだと感じた。

★いつもと違って異質に感じた。子どもにコロナと対峙させるのは難しかったのではないかな。

★コロナに関する町からのメッセージ、「なぜ清水町役場で」という経緯が理解できた。誠実な対応を役場一丸となって取り組まれたことに敬意を表する。

★町長メッセージなどタイムリーな記事だと思った。総務班からの風評被害人権配慮メッセージは一番心配なところ。もっと大きくアピールしても良かったのでは。

★残念ながら得るものが少ないと感じた。経過はわかったが、3ページと4ページ上段はほぼ同じ内容で、総務班と予防班の記事もクラスター発生を踏まえたものになっていないし、教育班もケ-

スパイケースということで臨時休校の基準など具体的な内容は知ることはできなかった。説明不足感が否めない、今回のクラスターについて、今後ぜひ検証をお願いしたい。

★場合にもよるが、「コロナ禍でのマスク姿の写真は「あり」だと思う。人前でのマスクを印象付け、予防にもつながる。

★今回の役場での新型コロナの対策、とても大変だったと思う。いろいろ厳しい声が役場に向けられていると思うが、職員の実直な仕事ぶりで町全体も落ち着いてくるのではと思っている。

★フォーカス、洞内さんの「ざりり」を読んでみたくなった。

★特集がコロナだったので、洞内さんのインタビューはホッとできる記事だった。

★エントランスホール展で作品を拝見していたので、町内にこのような人がいるんだ！と思っていただけ、今回紹介があったので、興味深く読ませてもらった。

**HELLO  
BABY**



「HELLO BABY」は、6か月から2歳くらいの赤ちゃんを掲載しています。希望される方は広報広聴係までお気軽にどうぞご連絡ください。(TEL 62-2114) 写真はメールでも受け付けています！  
mail:koho1@town.shimizu.hokkaido.jp



石田 墨 ちん

たくましく育ててね！

**ちようみん作品展**

短歌の寄稿がありましたので、紹介します。

**短歌**

- 日勝のもみじ鮮やかしむる秋 一年ぶりの小樽塩谷へ 村谷三恵
- 霜月にくつきり虹の渡りゆく 暗き世相に七色の輝 藤原静子
- 霜月の庭に芽を出すサンスベリア 見ぬふりも出来ず鉢に上げやる 森山ヤヨイ
- 庭の樹は役目を終えて裸木と 己れの出番おえて未来へ 田村徳子
- 見渡せば四方の山並み真つ白に 自然の四季を誇張するがに 宗像三郎
- カラマツの芯は青さを残しつつ 風に吹かれる霜月の空 大石 尚
- 栄養を幹に還かして散るといふ 落ちてゆく葉のつとめ果して 橋本佳代子
- 学芸会に乙姫となり童宮へ「浦島」を 迎へし遙かを偲ぶ 坂下洋子



-かぼちゃを食べてコロナに負けない元気な体に-保育施設等に藤田匡さん(タスクファーム・新得町)からかぼちゃ400玉が寄贈



12/18

(株)NIPPOが図書館駐車場の整備活動等の地域貢献活動を実施(感謝状は郵送にて贈呈)



12/10

-生徒の手づくりパンを食べて元気に-清水高校生がパンを役場に寄贈



12/8

-サンタさんプレゼントをありがとう!-しみず保育所でクリスマス会を開催



12/24

中学生の「税についての作文」で清水中学校生徒4名が入選(作文はお知らせ版1月号に掲載)



12/24

岩瀬諒子さんが(公)全国スポーツ推進委員連合の30年勤続スポーツ推進委員表彰を受賞



12/23

脇坂琉生さん(前左)、牧野愛良さん(前右)  
宮川疏薫さん(後中央左)、藤井翔理さん(後中央右)

トピックス

村上俊彦さんが画集を出版



村上俊彦さんが、ご自身が今まで描いた油彩画の画集「ふるさとの風景画集」を昨年10月に自費出版されました。

画集には道東地域や清水町の風景画が掲載されており、村上さんは「自分の人生の足跡を残したいとの思いから出版に至りました。300点以上ある油彩画から、思い入れのある103点を選んで掲載しました。」と感慨深げに話されていました。

同画集は図書館に寄贈されており、借りることができます。また、2月1日からは同館エントランスホールで村上さんの絵画展が開催される予定です。

-税金の大切さを知る-清水小学校で租税教室が開催

12月24日、清小6年生を対象に、帯広税務署職員を招き「租税教室」が開催されました。授業では『税金がある世界とない世界』のDVDの鑑賞等が行われ、子どもたちは「税金がさまざまな面で自分たちの暮らしを支えていることを学んだ。税金がないと不便であることを知った。」と納税や税金について理解を深めていました。



帯広地方法人会清水地区会が租税教育資料を小学校に寄贈

12月24日、帯広地方法人会清水地区会が、家庭で税金の役割に関心を持ってもらいたいとの目的で、清水・御影小学校生徒全員に税のテキストとクリアファイル等を寄贈しました。



清水小学校

御影小学校

TOWN EVENT  
1/16 ~ 2/15

CALENDAR

人口 9,305人 (-20)

男 4,600人 (-8) 女 4,705人 (-12)  
世帯数 4,731 (-2)  
令和2年12月末現在( )は前月比

1/16	土	■出張おはなし会(老人福祉センター 13時30分)	2/1	月	■エントランスホール展「開館30周年記念 村上俊彦油彩画展 花・花・花…」~27日まで(図書10時)
17	日		2	火	
18	月		3	水	
19	火	■清水・御影小学校始業式	4	木	
20	水		5	金	
21	木	■運転免許更新時講習(優良13時30分、一般14時30分、違反16時)	6	土	
22	金		7	日	
23	土	■おはなし会(図書11時30分)	8	月	■町民と町長のふれあいトーク(役場9時)
24	日		9	火	
25	月		10	水	
26	火		11	木	
27	水		12	金	
28	木		13	土	
29	金		14	日	
30	土		15	月	
31	日				

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、行事が中止・延期になる可能性がありますので、ご了承ください。

役場=清水町役場 文セ=文化センター 御支=御影支所 保セ=保健福祉センター 図書=図書館  
ハモ=ハーモニープラザ 町体=清水町体育館 アリ=アイスアリーナ 改善=改善センター  
消防=清水消防署 し保=しみず保育所 御こ=御影こども園 幼稚=幼稚園  
清小=清水小学校 御小=御影小学校 清中=清水中学校 御中=御影中学校

町長の日記



町民の皆様、新年あけましておめでとうございます。新年の新聞でも紹介されていた大河ドラマ「青天を衝け」の放送が近づいている。新聞には、渋沢栄一翁と清水町との関連についても詳細に記載されていた。渋沢栄一が残した功績はあまたあれど、我が町の礎となる産業を興し、これがいまだに基幹産業となっている例は数少ないとのことだ。本町とのつながりがある渋沢栄一翁が取り上げられたこのドラマの放送がとても楽しみである。現在放送されている「麒麟がくる」の放送も佳境に入り、毎回手に汗をにぎりながら観ている私は、大の大河ドラマファンだ。(1月4日の日記より)



町長のフェイスブック「阿部一男」で検索!

あとがき

■新年あけましておめでとうございます。今年も町民の皆様が親しまれる「広報しみず」を目指して作成に励みたく思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。■4.5ページの特集、清水・御影小の写真撮影では子どもたちの笑顔と元気な姿に元気をもらいました! ■町民の皆様にとって健康で平穏な1年になりますように。(下保)

※「福祉のひろば」「フォーカス」は紙面編集の都合上、今月は休載します。



健康最前線  
拡大版!



# 冬を 元気に 過ごすコツ!

保健福祉課健康推進係  
(TEL 0156-67-7320)



## 「冬」は感染症が 流行しやすい季節

冬は感染症が流行しやすい季節です。  
インフルエンザや胃腸炎に加え、今年は新型コロナウイルスの流行もあり、特に警戒が必要です。  
今年の冬を元気に過ごす鍵は、感染症予防にあると言っても過言ではありません。あらためて次のことに注意しましょう。



### ■手洗いを見直そう

毎回、石鹸をしっかりと泡立てて、念入りに手を洗っていますか?

水だけでさっと済ませるのは、洗ったうちに入りません。感染症予防で一番重要な「手洗い」をもう一度見直しましょう。

### ■乾燥を防ごう

湿度は50%~60%が理想です。40%を下回るとウイルスが浮遊しやすくなり、一方で加湿しすぎると結露の原因になってしまいます。  
加湿器は部屋の中央に置き、窓やドアから離して置くのがポイントです。洗濯物や濡れたタオルを干すのも効果的です。

## マスク生活で注意を お口の中を清潔に!

最近、マスクの中が臭いと感じた事はありませんか? マスクをすると鼻呼吸だけでは苦しく、知らず知らずのうちに口呼吸をしています。お口で呼吸をするとうちの細菌が増殖し口臭がひどくなり、様々な感染症のリスクも高まります。

時々意識をして、お口を閉じ、鼻で呼吸するようにしましょう。食後の歯磨きはもちろんのこと、食事前のブクブクうがいも有効です。

また、マスクをしていると、会話が減り口の動きが減少したり、水分補給が少なくなることでだ液の量も減少します。  
だ液には、お口の中を潤し、粘膜を保護し、免疫を高める働きがあります。  
こまめな水分補給と、だ液を出すために、よく噛んで食べることが大切です。

## 元気の源は

### 食生活から!

「これを食べれば免疫力がアップ!」という食品はありません。

身体に必要な栄養素は、約50種。栄養素は、いくつか組み合わせることで免疫力を高めるので、いろいろな食材を一緒に摂ることが大切です。

ポイントは、1日3食、リズムよく食べること。そして、日々の食事で欠かさず意識してほしいことは、主食、主菜、副菜をそろえることです。

この3つは、体への役割が異なるので、どれか1つが欠けてしまうと健康な体づくりの妨げとなってしまいます。また、補足的に、牛乳や乳製品、果物を取り入れると3つでは足りない栄養素を補うことができ、より良い体づくりにつながります。

■主食↓ごはん・パン・麺

■主菜↓肉・魚・卵・大豆製品

■副菜↓野菜・きのこ・海藻類

丈夫な体づくりを助ける栄養素を含んだ簡単レシピを紹介いたします!

冬におすすめ  
お手軽レシピ!

### じゃがいもと水菜の しゃきしゃきサラダ



【材料：4人分】

- じゃがいも…200g
- 水菜…40g
- 赤ピーマン…40g
- (合わせ調味料)
- マヨネーズ…大さじ1強
- 粒マスタード…大さじ1弱
- 塩…少々
- レモン汁…小さじ1

【作り方】

- ①じゃがいもと赤ピーマンは千切り、水菜は5cm幅に切る。
- ②じゃがいもは色が透き通るまでゆで、その他の野菜はさっと湯通しする。
- ③ざるにあげ、流水で粗熱をとったらしっかり水気をきり、合わせ調味料で和える。

★セロリやきゅうりなどお好みの野菜でも作ってみてくださいね!